

『喉頭・気管外傷例の発生原因と治療に関する 全国実態調査』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

喉頭および気管は解剖学的構造と機能の面から生命の維持と生活の質に直結するため、喉頭気管外傷に対しては適切な対応が求められます。気道の確保、発声機能、嚥下機能を考慮した治療を行う必要があります。しかし様々な傷害パターンがあり、病態や治療法の実態は明らかではありません。

➤ 研究（調査）の方法

下記医療施設を対象にアンケート調査を行い、2015年1月1日から2020年12月31日までに喉頭・気管外傷症例と診断された患者さんのカルテデータから、受傷機転、喉頭内視鏡検査所見、治療法などに関する情報を収集します。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定研修施設

➤ 調査期間

理事会承認日から3年間

➤ 調査の対象となる患者さんへ

本研究は個人情報を除いたカルテデータを用いた臨床研究です。新たな負担や不利益は一切ありません。患者さんの個人情報に関する調査結果を公表することは一切ありません。

➤ この調査への協力は任意です。

本研究にご自身のカルテデータを用いられることを希望されない場合は主治医にその旨をお伝えください。調査への協力に同意されなくても、患者さんに不利益になることは一切ありません。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。

研究責任者：梅野博仁（施設名）久留米大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F

E-mail : jbes@kishoku.jp